



## 3月議会 国際交流 と カントリーリスク

中国と台湾 国際感覚の最新への認識を！ 松原のりかず質問  
社会主義を放棄、遅れてきた帝国主義？ となった「大国ロシア」……

3月議会初日、3月3日に「ロシアのウクライナ侵略に抗議する決議」を岐阜市議会は全会一致で決議しました。2月24日、21世紀に、国連常任理事国ロシア・プーチン大統領によるウクライナ侵略が行われたことは、私達の予想を超えた事ですが、事実です。

国連総会では、「ロシア批判決議」が圧倒的多数で可決されました。ロシアへは、世界各国からの経済制裁が開始されました。しかし、操業を停止した外資企業の資産を「ロシアのものにする」とプーチン大統領が発言したと報道されています。

ロシアの国際的孤立は明白ですが、今日までのロシアへ投入された外国資本が回収出来ない事態になりつつあります。世界は、第二次世界大戦後の秩序の崩壊の危機にあります。

報道によれば、ウクライナ避難民は280万人（質問時）をこえました。岐阜県の人口以上です。さらに、アメリカの報道では1000万人を超えるのでは、とも言われています。

産科病院へ無差別爆撃がされたとの報道もされています。子どもの犠牲者拡大の報道もあります。「ロシアのウクライナ侵略」以前と、その後の世界情勢は激変した事を、地方自治体も理解せねばなりません。

国連総会で「ロシア批判決議」に常任理事国の中国は「棄権」し、その中国にも人権問題で批判報道が続いています。

以下、5点、市長及び関係理事者に見解を伺います。

- 1 地方自治体でウクライナ難民受け入れ全国報道がある。岐阜市の「ウクライナ難民受け入れプロジェクトチーム」のスピード感をもった取り組みの強化と、情報発信について見解を伺います。
- 2 国際交流は、一国、一地域に偏ることなく、広範に行われる事が重要と考えます。見解は。
- 3 観光行政における「台湾からの観光客」の実態は、どう分析されているか。

(うら面につづく)

# ウクライナ避難民受け入れ プロジェクト取組強化を市長答弁 1・2

- 4 台湾との文化交流の窓口の現状は。文化交流から、経済交流への道筋をどう考えているか。見解を伺う。
- 5 新年度の国際交流予算が組まれている。国際交流には広範な交流が望まれるが、台湾との関係を準備されるべきと考えるが、見解を伺う。

1, 2 は市長に、 3, 4, は、ぎふ魅力づくり推進部長、5, は教育長、薬大学長に、伺います。

## ウクライナ への ロシアの侵略 と アジアの 台湾問題

ウクライナ戦争への経済制裁として、ロシアへの資本進出の見直しが進められています。ウクライナ戦争は、アジアの台湾問題と深く係る問題となろうとしています。「ひとつの中国」論に引きずられない「台湾認識」が問われる時代となると。

観光部門での来岐数は、台湾人は中国人の人数に継ぐ参加。観光部門や文化交流など「大陸中国」一辺倒の取り組みに変化が起きると思われまます。魅力部、教育交流などの答弁が、まだ、時代に追いついていないように感じました。国際の動きに地方自治体の取り組みが、どうしても遅れています。

## ロシア大使館に送付されない？「抗議する決議」

3月3日に岐阜市議会本会議決議された「ロシアのウクライナ侵略に抗議する決議」がロシア大使館へ送付されていない件について、無所属クラブは「他自治体では、ロシア大使館や、プーチン大統領に送付している事例もある」として「抗議先のロシア大使館への送付」を谷藤議長に要求していました。

この件について岐阜市議会幹事長会議で協議されましたが、自民党と市民クラブの賛同を得る事が出来ず、「ロシア大使館への送付」が「されない」事になりました。

## 無所属クラブが視察 その他プラスチックリサイクルセンター

無所属クラブは、4月8日、本年4月から稼働はじめた「その他プラスチック」のリサイクルセンターの現場視察を行ないました。市民の協力が大きな課題ですが、幸い分別・事前清掃など市民のお力を得る事が出来、順調な稼働状況と視察いたしました。

ゴミ収集での市民との信頼関係は岐阜市行政の財産。無料収集(税金で収集しており、実際は無料ではない)で築いた、岐阜市行政の財産であり、経過を承知しない一部市議会議員の「経過を無視した有料化論」にはもっと勉強をお願いしたい。と。



松原のりかず  
☎058-253-2500